

# 春の叙勲

## 瑞宝単光章



生命と財産を守る

地域防災活動に尽力



荒川 明 見さん  
(船越・77歳)  
<消防功労>

「市民の生命と財産を守る使命感を持ち、活動してきました」と力強く語る荒川さんは、昭和45年に町消防団に入団し第2分団に配属。平成2年に同分団副分団長、平成6年に同分団分団長に就任し、平成19年に退団されるまでの約37年間、迅速な防災活動と団員の育成に力を注いきました。

昭和46年に大槌町で発生した林野火災や昭和51年に宮古市と豊間根地区の境界付近で発生した大規模林野火災など数多くの火災現場で懸命な消火活動に取り組んだ荒川さん。その功績から平成14年に総務省消防庁長官から永年勤続功労章を授与され、平成17年には日本消防協会から精績章を授与されています。

活動の思い出を尋ねると「火災現場で感謝されたことが何よりもうれしかったですね。皆さんの笑顔が活動の励みになりました」と37年間の活動を思い起してきました。

受章された荒川さんは、「私一人で受章したものではありません。先輩方のご指導や家族の協力があったからこそその栄誉です。本当に感謝しかないです」と喜びをかみしめていました。

今年の夏はどのような夏になるのだろうか。私が子どもたちは、梅雨明けが7月中旬で夏休みが終わるお盆の頃には涼しくなるものであった。気温が30度を超える日は、ひと夏で10日あるかないかであったが、最近の気温は10月でも暑い日が続くようになつた。これは地球温暖化の影響なのだろう。この影響で線状降水帯が多発し、大雨をもたらす危険性が高まつていると。このような異常気象は、これまでの東北地方にはあまり考えられなかつた。

当面にも4年ほど前に台風19号が襲来し、1時間に7.5ミリというとてつもない雨をもたらし、田の浜地区を中心に大きな被害が出てしまつた。これから時期、10月までは気を許すことができるない日々が続くことになる。最近の天気予報は精度が上がってきており、予報を自己判断せず町民の皆様方にもご用心いただきたいと思う。

山田町長 佐藤 信逸

町長室から

令和6年春の叙勲で、本町の荒川明見さんが、消防功労として瑞宝単光章を受章し、長年の功労に光が当てられました。